

製品名: TERF2IP マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM86037**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,IHC 1:100-1:500
分子量	44.3kDa

抗原情報

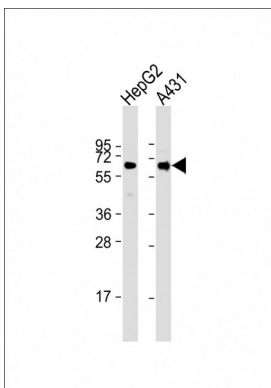
遺伝子名	TERF2IP Telomeric repeat-binding factor 2-interacting protein 1, TERF2-interacting telomeric protein
別名	1, TRF2-interacting telomeric protein 1, Dopamine receptor-interacting protein 5, Repressor/activator protein 1 homolog, RAP1 homolog, hRap1, TERF2IP, DRIP5, RAP1
遺伝子 ID	54386.0
SwissProt ID	Q9NYB0
免疫原	この TE2IP 抗体は、ヒト TE2IP の 1 ~ 399 個のアミノ酸からなる組み換えタンパク質で免疫化されたマウスから生成されます。

背景

テロメア機能の調節因子と転写調節因子の両方として機能します。シェルタリン複合体（テロソーム）の構成要素として、テロメア長の調節と保護に関与しています。シェルタリン複合体の他の構成要素とは対照的に、テロメアキャッピングには不要であり、非相同末端結合（NHEJ）を介した修復からテロメアを保護することには関与しません。代わりに、テロメア組換えを負に制御するために必要であり、テロメア長に影響を及ぼす可能性がある相同組換え修復（HDR）の抑制に不可欠です。DNAに直接結合せず、TERF2との相互作用を介してテロメアの二本鎖5'-TTAGGG-3'リピートにリクルートされます。テロメアでの機能とは独立して、転写調節因子としても機能します。TERF2または他の因子との関連を介してテロメア外5'-TTAGGG-3'部位にリクルートされ、遺伝子発現を制御します。細胞質内にある場合、I- κ Bキナーゼ（IKK）複合体と関連し、IKKを介したRELA/p65のリン酸化を促進することでNF- κ Bシグナル伝達の調節因子として機能し、NF- κ B標的遺伝子の発現を活性化します。

研究分野

画像データ



全レーン：抗TERF2IP抗体（1:2000希釈）